



# ニュースレター あすか

2011  
2月号

通算 215 号

2011年2月1日

## 園芸療法

「心が動けば体も動く」をテーマに

### 第六回

園芸療法士 西野 清子



紅葉真っ盛りの11月の終わりに、野の

花園芸療法の時間を園芸療法の実習で来られた山田勝さん(22才男性)に担当していただき、ご利用者様と「ハーブの香り袋」をつくりました。ご利用者のY様は就寝前に睡眠導入剤を飲まれるそつで、「このラベンダーを枕元に置いて寝たらリラックスして眠れそう!薬も飲まなくていいかも!」と、とても喜ばれました。もう一つのスペアミントも大人気で、山田さん考案のプログラムは女性の心ががっちり掴みました。



そして、先日読んだ作業療法士の山根寛さんの「作業療法士の詩」という本の中の「五官を開き五感に聴く」という詩をご紹介します。

この詩のようにご自分の身体の中からわき出る力、自然のリズムとの繋がりを感じていただけたらと思います。

病いや障害により閉ざされた五感  
混乱から自身を守るために閉ざした五感

いま 失われた自分と身体の関係を取り戻すとき  
五官を開き 対象に向かい

目的ある作業により 対象を操作する  
対象から五官が受けとめる外界の情報  
作業活動により自分の身体から生まれる自己情報

五官を開き 五感に聴き  
身体を操る 目的にむけて操る  
相關する外界情報と自己情報

脳の地図が描きなおされ  
身体のものさし(身体図式)が修正され  
身体が意味ある「からだ」としてもどってくる

私が身体となり 身体が私になる

そして  
意味ある「からだ」となった身体により  
聴きとられた五感が  
世界を私に意味づける

五官とは・五つの器官 目、耳、鼻、舌、皮膚  
五感とは・五つの感覚 見る・聴く・嗅ぐ・

味わう・触れる  
以上



### 【目次】

### 【ページ】

- 1. あすか高齢者相談室より シリーズ5.....2
- 2. 音楽の贈り物 第1回
- 3. CSクレド委員会 活動報告.....3
- 4. 介護の日 あなたに伝えたい ありがとう
- 5. あすか事業所だより
- 6. あすか事業所だより.....4
- 7. アートの世界.....5
- 8. おもしろきかな我が人生  
~宮本 緑さん.....6
- 9. 若竹句会 12月作品抄.....7
- 10. あすかスタッフに迫る.....8

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも  
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか  
(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143 FAX:082-879-3190

# 「あすか高齢者相談室」より

## シリーズ ⑤



「介護に関する質問にお答えします」

あすか居宅介護支援事業所

介護支援専門員 三原 千春

母が認知症になり通帳の管理ができなくなったので、娘の私が貯金通帳を預かりました。

先日、母が骨折をして入院しましたので入院治療費を支払うため、銀行で払い戻しを受けようとしたところ、そういう状態であれば、成年後見人からの請求でないと支払いはできないと言われ、払い戻しができませんでした。  
成年後見人とはどのようなことをするのですか？

(答え)

成年後見人は、成年被後見人であるお母さんの「財産管理」と「身上監護」をします。

「財産管理」：本人の預貯金の管理、不動産の処分など財産に関する契約の支援。  
「身上監護」：介護・福祉サービスの利用や医療・福祉施設への入退所の手続きや費用の支払いなど、日常生活にかかわる契約の支援。

私が後見人になることができますか？

(答え) 後見開始の申立て時に候補者を記載できます。ただし、必ずしもその候補者や親族が選任されるとは限りません。

家庭裁判所は、本人の心身の状態並びに生活及び財産状況、成年後見人等候補者の職業・経歴、成年後見人等候補者と本人の利害関係、本人の意見などをふまえて誰が最もふさわしいかと総合的に判断します。

そのため、家族以外の弁護士や司法書士、社会福祉士などの法律・福祉の専門家や、それらの公益法人が選ばれる場合もあります。この場合、これらの成年後見人等に対する報酬は、家庭裁判所が決定し、本人の財産の中から支払われることとなります。成年後見制度の利用の手続きは本人の住所地にある家庭裁判所で行います。

広島家庭裁判所

広島県広島市中区上八丁堀1・6

082 228 0494

「あすか高齢者相談室」では、介護に関する相談をいつでもお受けいたしております。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

あすか高齢者相談室

082・830・5177

# 音楽の贈り物



「あすか音楽療法の現場から」  
第一回・音楽で旅をする

日本音楽療法学会認定音楽療法士 杉丸七重

こんにちは。音楽療法士の杉丸です。今月から「音楽の贈り物」という小さなコラムを書かせていただくことになりました。音楽を通じてご利用者の皆様と過ごす日々の出来事を少しずつお話させていただこうと思っております。よろしくお願いたします。

唐突ですが、私は外国語が苦手です。世の中はグローバル化され、世界中が繋がりにあるというのに、我ながら情けないなあと思います。でも、言葉が通じなくても心を伝えることは出来ると思います。それは音楽です。これからは、音楽がどれだけ、人と人の心を伝える手段となるかをお伝えしたいと思えます。ご利用者様と私は親子かそれ以上の年齢の開きがあります。せっかく、ご利用者様が今まで生きてこられた時代のお話をしてくださっても、私の理解不足に、がっかりされる事も多いのではないかと思います。言葉が通じればわかりあえるか、というところでは不十分な事もあるのです。過去の時間にさかのぼるには、言葉だけでは限界があるのです。しかし、音楽の力を借りる事で、少しだけ同じ気持ちを共有できたかしら、と思う事もあります。時には「言葉」を飛び越えて「今」「同じ気持ち」を一瞬にして強烈に共有できる事もあります。

そういう小さな喜びを心の糧に、日々を過ごさせていただいていきます。

私にできる事は「音楽」という手段を使って、「時間軸をさかのぼる旅をする」事により、「ご利用者様の世界に一步でも近づかせていただく事です。」

## CSクレド委員 活動報告

CSクレド委員長 中井 祐子

### 新しい年の心構えとして

平成21年の5月にCSクレド委員会が立ち上がり、平成21年の11月に医療法人あすかのクレドベーシック職員の行動規範33項目が完成しました。

あれから1年が過ぎ、この度、平成22年12月1日に職員の行動規範33項目を32項目にまとめリニューアルしました。

リニューアルした職員の行動規範を職員一人ひとりに配り、毎日唱和をしています。

クレドを取り入れて1年が経ちました。定着させていくため、「あいさつ運動」を実施したり、職員にありがとうの気持ち伝えるサンクスカードを取り入れたりと色々なことを行ってきました。その結果、少しずつではありますが、率先してあいさつをする職員が増え全体の雰囲気明るくなりました。

これからも職員一人ひとりがクレドを共有し、あたたかい職場をつくる為、努力していきたいと思えます。

クレドは人のため

だけではなく、自分自身が、自分の人生を生きていくための指針としていつ受ければと思います。



## 「介護の日」あなたに伝えたい「ありがとう」

昨年11月の終わり、湯崎広島県知事から理事長宛に、あつたか介護「ありがとう」というお礼のカードが届きました。中には職員に対する励ましの言葉が書かれていました。思いがけない手紙にびっくりしました。

これは、しゅりあちよーくご利用の小西春義様が、県が行っている福祉や介護の職場で意欲を持って働いている方々を応援するキャンペーンに応募してくださったからでした。その中には、小西様の、私たち職員に対する暖かいメッセージがありました。行き届かないことも多いのにこのような嬉しい言葉をいただき感激しています。これからもみんな力で力を合わせて頑張っていこうと思えます。本当に有難うございました。

### 医療法人あすか

高橋 勲さん 職員一同さんへ

安佐南区には多数の介護施設がありますが、なかでもあすか事業所は素晴らしい施設と私は信じてます。

理事長さんの素晴らしい経営理念に基づきクラブ活動が大変充実しており多種多様なクラブがあるので施設内は活気に溢れスタッフもメンバーさんもいつも笑顔が満開です。

私はそんな あすか が大好きです。スタッフの皆さん感謝してます。今後供宜しくお願いします。ここは利用者同士も大変仲好しです。ありがたや～ ありがたや～

小西 春良より



本文より

## 民謡プログラム

### ショートいわや

ショートステイいわやでは毎週火曜日の午後、ご利用者様が心待ちにされている正木邦雄先生指導の民謡の時間があります。伴奏にコンダクターという楽器を使っています。この楽器は、三味線の音色も出せ、歌い手の音程に合わせてくれる不思議な楽器です。民謡は生活に密着した歌が多く、懐かしいメロディーに心も躍ります。

正木先生は「民謡では大きな声を出すし、心も楽しくなるので身体の内側から元気になります」とおっしゃいます。民謡の時間には、力強い歌声と笑い声、笑顔があふれています。

これからも元気に色々な歌を歌い、一緒に楽しい時間を過ごしていきたいでしょう



コンダクターを奏でる正木先生

ショートみどりい

縫物クラブ

毎週火曜日の午後からは縫物クラブの時間です。「昔は得意だったけど、今はちよつと自信がない」というご利用者様に昔のように自信をつけていただけるように、最初は運針から始めました。少しずつより難しいものが作れるようになりました。ご利用者様とスタッフいつも和気あいあいと取り組んでいます。



8月から手掛けていた大作タペストリー！

昨年8月から11月のみどりいの文化祭に展示するためにタペストリー作りを始めました。無地のイメージル四方の大きな布が、ボタンを花びらにしたり、かぎ針で編んだ花模様をつけたりとご利用者様のアイデアと工夫で素敵な作品ができました。文化祭では、家族の方がたに見ていただき



まやるちよーく

タイルモザイク

毎週木・土曜日の午前中に行われるタイルモザイク。タイルをペンチで細かくカットし、板の上に描かれた下絵に、木工用ボンドで一つ一つ丁寧に貼っていきます。こつこつと地道な作業を重ね、すばらしい作品が出来上がります。タイルモザイクの日は、「少しでも早く始めたい!」「お茶休憩ももつたいたい。」「おもしろいよ!」と時間を一杯使いたい、集中して作業を進められます。色がだんだん付いていく楽しさ、完成した時の喜びや達成感はとても大きいです。個人作品の他、昨年末には共同作品として2作品ができました。ありがとうございました。ひとつは、一人一文字を担当された「おめでとうございます」、さっそく誕生会で使わせて頂きました。

もうひとつは、春夏秋冬をテーマにした作品で、四枚の下絵を一人一枚担当し、それを合わせて一つの絵が完成します。皆で力を合わせて作り、出来上がった時は感激でした。



わしもできるんじゃけー、うまいもんじゃろ



つごいの家

平和大通りのドリミネーションを見に行きました

去年に引き続き今年も平和大通りに広がるイルミネーションを見に行きました。片道30分のドライブです。

街に近づくにつれネオンが輝き歳末の賑わいが伝わってきます。平和大通りは200メートルに渡り、光の海が広がっていました。ガラスの靴や大きなツリーなどの絵本の世界から飛び出してきたような光景が続いています。「わぁーきれい!!」「美しい!!」「すごいね!!」と歓声が上がご利用者様の表情もイルミネーションに負けないくらいに輝いてきました。色鮮やかなイルミネーションに瞬きも忘れそうになるくらいぎ付きまはたなられていました。別世界にでもきているかのような心弾んだドライブでした。



まばゆい輝きはなつツリー

『しゅりあちよーく・野ばら祭』は、皆様が日頃取り組んでいらつしやるプログラムの成果を発表・展示する年に1度のお祭りです。手芸・ちぎり絵・絵画・俳句・書道・園芸・よろず屋、それぞれのグループより選りすぐりの力作が展示されます。

お祭りのオープニングは職員による出し物『ソーラン節』です。力強く勢いのある踊りに、皆様より「アンコール・アンコール」の声が上がりました。

詩吟グループの発表では『矢切りの渡し』『名権日本号』と緊張された面持ちながらも、いつも以上の素敵な歌声が披露されました。野ばらグループによる『はらぺこあおむし』の演劇では、ご利用者様のゆつたりとした語り口調に合わせ、様々な場面展開がされています。

『つばマッサージ』では、紙面に描かれた大きな手の平と職員の説明により、皆様ご自分の手のつばを押さえながら熱心に聞いておられました。最後は全員で『しゅりあちよーく賛歌』の合唱です。冬の寒さを吹き飛ばすほどの大きな歌声が、館内に響き渡りました



タイルモザイク



126枚の布をつなぎ合わせた手芸作品



館内に響き渡る、素敵な歌声



よろず屋手作り作品  
間仕切りの多い、小物を整理するのにとても便利な収納箱

しゅりあちよーく  
野ばら祭



ちぎり絵

絵画グループの作品展

アートの世界



「若い頃より、洋裁・謡曲・日本画と色々な趣味に取り組んでこられた日野出様は、『しゅりあちよーく野ばら祭』に、お若い頃描きためたご自分の作品や師事した先生の作品を持って来て下さいました。日本画では、水干(すいひ)を膠(にかわ)で溶いて絵を描いていました。歌いながら、洋裁したり、日本画を描くために、スケッチに行ったりと忙しかつたけれど充実した日々を送っていました。友達もたくさんできて楽しかったです。」とおっしゃっていました。

しゅりあちよーく  
日野出タメ子様



まやるちよーく  
川井キヌヨ様



「私は絵が下手くそだから恥ずかしいよ。」と恥ずかしそうに微笑まれる川井さん。大切に描かれた、かわいらしい表情の作品たち。見る人をやさしい気持ちにしてくれます。



まやるちょーく

みやもと みどり  
**宮本 緑さん**



おもしろきかな我が人生 ♪

昭和2年2月21日(83歳)



「習字や手芸、  
これからも  
続けたいです！」

- ・お住まい...安佐南区八木
- ・好きな食べ物...甘いもの・果物
- ・趣味...俳句・針仕事

**少女時代**

私は昭和2年、高田郡八千代町で生まれました。六人兄弟の長女、女の子は一人。親の職業は農業兼、村の鍛冶屋で、鎌・鍬などを作っていました。小学校入学当時は泣き虫でよく泣いていたようです。バレーボールの強い球は怖くてね...でもよくやりました。卒業後は八重実業学校へ入学。寄宿舎生活が二年間。当時の先生は、羽織・袴でね、特に生花の先生(男子)はとても威厳がありました。卒業後は男子は兵隊への時代。女子は農協から声がかかり各村一名、「女子農業技術員」とかで一ヶ月間西条の方で講習を受け、農協に農協技手さんの助手として採用されます。私も村の一名に選ばれましたね、農協へ勤めました。当時は戦争中で八千代町に飛行場が出来つつありました。飛行場建設には大勢の兵隊さんがこられ、我が家にも泊られました。時々母が夕食を準備していました。「ああうまくいった。たらふく食った。」と大きな声が聞こえてきました。

**父の死**

戦争が終わり、父は立ち退きになっていた家の建て直しに行き事故に遭い、翌日四十六歳の若さで亡くなりました。真つ直ぐな父、優しくかった父、本当に残念でした。「みどり、寒くないか」が最後の言葉でした。今でも父の声が耳に残っていますよ。

**母の事**

母は小さな体で元気に農業一筋、夏には真つ赤なトマトをバケツに入れ井戸の底に吊り下げ冷やし、秋は早朝松茸山へ、年を取ってからは陶芸一筋、中国新聞「こだま」への投稿、旅行大好き88歳まで長生きでした。

**結婚**

二十一歳でお見合い結婚。農家へと嫁いだんよ。主人は結婚間もなくからなぜか、私に漢字のテストをするんです。毎日：何の意味があつたんでしょね(笑)。広い畑があり、農業を一切ら全て教えていただきました。苦勞もあつたけれど、お舅さん、お姑さん、主人の妹、みんな仲が良かったし楽しかったですよ。子供を二人授かりました。近所に産婆さんがおられたので、離れの二階で産みました。ところが主人は若い時から体調が悪くてね、広大病院で診察、検査の結果、重い病気が判明しました。「子供さんが三人おられると思って見てあげて下さい。」と、先生からお言葉をいただき、主人には心のままに生活していただきました。主人も苦しかったと思います。五十八歳の若さで逝きました。

**天職 医療事務**

私は、三十三歳からは可部にある大和重工に勤めておりました。現場へ二年、事務で十年勤め、四十五歳の定年で退

職しました。娘の勧めで医療事務養成講座を受講したんですよ。講習中に「可部の病院に就職希望の方は？」と、聞かれてね、はい。「手を上げたんです。そして紹介されたのが祇園の病院でした(笑)。医療事務と言う仕事は、私にとって本当にやりがいのある大好きな仕事でした。五十五歳で退職し、それからは自適な生活を送っております。

**書道大好き**

ケアマネさんから紹介され、まやるちょーくを利用していただく事となりました。書道が好きで毎週楽しみにしております。このまま続けていくのが今の私の夢です。



丁寧な言葉遣い、おしとやかな仕事、私たち職員の憧れです。書道作品は優しく力強く、思わず見入ってしまいます。これからも書道やイベント、楽しい時間をまやるちょーくでお過ごし下さい。

山崎 章子

# 若竹句会十二月作品抄

子供頃 たいこの音で 宮いそぐ

常広 信枝

〔寸評〕季語がないですね。この頃ですから秋祭りでしょうね。「秋まつり太鼓の音で心急(せ)く」ではいかが? 「子供頃」「宮いそぐ」はきゆうくつですね。五字におさめよつとするあまり、無理がくるんですね。上下の入れ替え、他の言葉を持ってくるなりしてみましよう。「舌頭干転(ぜつ)とうせんてん)」は俳句の命!

朝起きて 戸を開けとたん 息白し

常広 信枝

〔寸評〕「息白し」は、冬の生き生きとした季語の一つです。「朝起きて」は省略できないが、また「戸を開けとたん」は、ちよっときゆうくつですね。ここは思い切って詩的に、

(修正句) たてしがる古戸にかけの息白し  
では、どうでしょうか?

年の瀬や 朝夕寒し マスク増え

綿谷カツエ

〔寸評〕年の瀬 寒し マスク これらはすべて冬の季語、これを「季重なり」といって、一句の中に季語が二つ以上入っているのをいいます。短い詩型の中で、季語は俳句の中心になります。人間で言えばへそのようなもの、俳句の命ともいわれます。したがって、一句一季語が基本です。

(修正句) 朝市や姉さんかぶりのマスク増え

落葉枯れ 色を無くした 山眠る

中谷 明子

〔寸評〕枯れた落葉の色は、茶に黄赤を帯びた色をいいます。(広辞苑)「山眠る」は、冬季の山の木々が枯れて、まったく精彩を失い、深い眠りに入るように見えるのをいいます。この句「色を無くした山眠る」と冬の山を詠んで秀逸。

さくさくと 踏みし思い出 霜柱

中谷 明子

〔寸評〕温暖化で霜柱が立つことが少なくなったのでしょうか。いや、道がよくなって、道の表土を押し上げる現象が少なくなったのではないのでしょうか。「さくさく」の擬音の思い出がよく効いた句です。

山茶花や ぼつりぼつりと 咲いてきた

西 富枝

〔寸評〕山茶花は冬の花の少ない時期に、ぼつりぼつり咲いて、花期が長いのが特徴。

山茶花の特徴をよく掴んでいます。



# 信廣高陽 選 (平成二十二年)

山眠る 小枝の先に 野鳥二羽

西 富枝

〔寸評〕落葉しつくした山々が、冬日の中に眠っているように見える。家里近い雑木山でしょうか。落葉して小枝があらわになり、野鳥二羽がはつきりと描かれている。まるで山水画を見るようです。

神楽歌 遠く近くに 聞えけり

石原 守恒

〔寸評〕季語は神楽歌。俳句はこの句のように五音・七音・五音という三つの音節からなり、世界で最も短い詩です。この句、感じたことを素直に表現しています。

(参考句) 夜神楽の或(あるい)は近き離子(はやし)かな 星野麦人

マスクして 人波さけて 歩き行く

河野 一枝

〔寸評〕冬になって空気が乾燥し始めるとマスクをかける人が多くなります。「人波さけて」がこの句のいのち。

(参考句) マスクして人の背中が前にある 加倉井秋を



霜柱 さくさく歩いて 転びそう

河野 一枝

〔寸評〕「さくさく」は霜柱を踏む音、擬音を使うことによって句は肉感的になります。「転びそう」は素直な言葉で、作者の気持ちがストレートに伝わってきます。冬を詠って佳句です。

夕べ風で 落葉みな落ち 安心した

常田トモエ

〔寸評〕晩秋から冬の間にあらゆる落葉樹は葉を落してしまいます。この句、上五の「夕べ風で」はきゆうくつですね。中七と入れ替えてみると「落葉みな(五字)夕べの風で(七字)」となり下五に「吹きだまり」を置くと、あまり句意を変えることなく五七五ができあがるのではないのでしょうか。

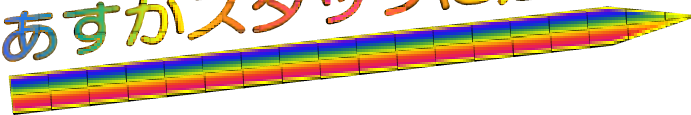
(修正句) 落葉みな夕べの風で吹きだまり

〔選者 吟〕

三角点 極めて瀬戸の 初景色

信廣 高陽

# あすかスタッフに迫る!



すてっぷ

理学療法士  
戸口田 武史さん



## Q. 入社理由?

A 大学時代の恩師に薦められました。患者様・利用者様と、深く時間をかけて関わり、学び理学療法士の経験を積みたいと思ったからです。

## Q. 仕事内容は?

A ご利用者様の本当にしたい生活を実現するためにはどうすればいいかを考えながら、リハビリメニューを考えたり、一緒にリハビリをさせていただいています。ご利用者様とたくさん話をして、ご利用者様により良いリハビリを提供できるよう日々努めたいと思っています。また、大学で理学療法の実験をしている後輩達が、施設見学に来た時などの指導もしています。若輩者ですが、気を引き締めて頑張ります。

## Q. 趣味は?

A 友達と遊ぶのが好きなので、友達の影響を受けやすいのですが(笑)今はゲーム・ドライブ・ボーリングが楽しいです。でも最近は友達も結婚し始めて・・・

## スタッフからの声

いい歳なんだからそろそろお嫁さんをもろう事を考えないとね・・・なんて声もご利用者様からちらほら聞こえてきます(笑)仕事も私生活も頑張ってくださいね!



インタビューー 山崎 章子

3S

Specialist (専門家)

職員は、医療、看護、介護の専門家(Specialist)としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し(Sympathy)必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全(Safety)に対して細心の注意を払います。

## ~ 医療法人あすかの理念 ~

当法人は  
ISO9001の認証施設です



H22年9月16日に再認証をうけました

## 【編集後記】

今月号から、『音楽の贈り物』のシリーズが始まりました。記事の中に、「私にできる事は『音楽』という手段を使って、『時間軸をさかのぼる旅をする』事」とあります。杉丸先生のご利用者様に近づきたいという思いあつてのお言葉です。杉丸先生のお人柄が出た素敵なお記事!これからのシリーズが楽しみです。

毘沙門クリニック  
ショートステイ いわや  
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16  
デイサービスセンター しゅりあちよーく  
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院  
デイサービスセンター まやるちよーく  
通所リハビリテーション すてっぷ  
ショートステイ みどりい  
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所

082・830・5177

緑井3丁目20・1・103

医療法人あすかの医療・介護関連施設